

PET/CT検査を受けられる方へ

—放射線の影響について—

あなたの体を詳しく調べるため PET/CT検査を行う事となりました。PET/CT検査では放射線を用いて体内の様子を細かく写真に撮ることができ、様々な病気の状態を詳しく知ることが出来ます。正確な診断そして適切な治療のために必要なものです。

「放射線の影響が心配で検査を受けなかった為にあなたの病気の状態が良く分からず、症状が良くならない、悪化した」ということは最も避けなければなりません。

放射線のことを心配な時は、担当医とよく相談し納得した上で検査を受けて下さい。

※放射線が体に及ぼす影響について

受けた放射線の量が100ミリシーベルト未満であれば、癌の発生率への影響や遺伝的な影響はないと言われてています。

※PET/CT検査で用いる放射線の量について

通常の検査では100ミリシーベルトを超えることはありません。お子さまの場合は、体格を考慮して大人よりも少ない放射線の量で検査する様にしています。

※当院では診断参考レベルに基き、診断の質を保ちつつ線量を低減するように努めています。

福岡和白PET画像診断クリニック

被曝について

使用する薬剤による重篤な副作用の心配はまずありません。

また、1回の検査で、放射性薬剤と撮影による放射線被曝、およそ8~12mSv（ミリシーベルト）を生じますが、これは一般のCT撮影による被曝線量の約1/2に相当します。

